

福島スキーツアー 報告

3 月に入って春らしくなるかと思っていたら寒波がやってきてパウダースノーを楽しむスキーツアーとなりました。連日雪で鎌房山スキー登山はできませんでしたが、スキー三昧で参加者一同満足した例会でした。福島の羽鳥湖上流の別荘地にある川畑實大先輩の山荘では心づくしのおもてなしをいただいて参加者一同感謝しております。

☆参加者: 川畑實(ホスト)、和光広典、酒井利直、中川勝八郎(幹事)、井上達男

☆期日: 2017 年 3 月 8 日 (水) ~10 日 (金)

3 月 8 日

AM9 時頃、酒井、中川組と和光、井上組がそれぞれグランディ羽鳥湖スキーリゾートで待機していただいていた川畑さんと合流。コーヒータイムでくつろいだ後に川畑さんの案内でグランディ羽鳥湖スキーリゾートの全コースを楽しむ。折からの降雪と 20cm 内外の新雪に皆嬉々としてコースにシュプールを残して滑降。

予定していた鎌房山 1510.2m は悪天候のために断念した。中川さんは新調したシールを試したいというので酒井さんと二人で電波塔(1270m)まで偵察を兼ねて往復した。酒井さんが小型のビデオカメラを体に取り付けて滑降シーンを撮影してくれる。これは最近居谷会長の発案で開設された Face book に投稿されているので例会参加者以外にも閲覧されたことと思う。昼食をはさんでたっぷり滑り込んだ。

スキー場の風呂に入ってさっぱりし、川畑山荘にて夕食の宴。美味しいお酒と料理、そして話に花が咲き時間の過ぎるのが早いこと。

土鍋に日本酒を入れた火鍋は肉などの食材が美味しく炊けて食が進む。この料理は「川畑山荘火鍋」と呼んではどうか。次の機会にも是非お願いしたいものだ。中川さんが川畑さんに促されて蕪のタラコ和えの一品を作ってくれた。さすがにプロは違う。盛り付けも美しい。



鎌房山の偵察に出かける中川、酒井



川畑山荘での歓談



日本酒の炎高く、川畑山荘火鍋



蕪のタラコ和え、アスパラ付



日本酒の火鍋を囲んで(中川勝八郎撮影)
川畑實 井上達男 和光広典 酒井利直

3月9日 アルツ磐梯スキー場

明るい朝を迎えた。山荘にはうっすらと新雪が積もっていたが、晴れ間も見えている。

磐梯山の西に猫魔ヶ岳 1404m がある。その南山麓に展開しているのがアルツ磐梯スキー場だ。今日

も雪がよく降っている。新雪が 30cm 内外積もってパウダーを楽しむには絶好のコンディションだった。コースが複雑で川畑さんの先導がないと悪天候下では心もとなかつただろう。

スキーヤーの数が少ないのでコースに新雪が残り一日中パウダースノーを楽しめた。皆が今シーズン一番のコンディションだと喜んでいて。それにしても川畑大先輩の健脚には感心する。華麗なる滑降スタイルは完成されたフォームから無駄なく板に伝えられるエッジングのたまもの。山岳部で教えられたただ移動するだけのスキー技術に甘んじていた後輩たちは不出来で不幸なスキー人生を嘆くのみであった。川畑大先輩の境地に至るまでまだまだ年月が残されている我々である。さらなる努力を続けて大先輩に近づきたいものだ。

帰路、須賀川市の藤沼湖畔にある温泉、やまゆり荘に案内してもらった。市営で入浴料が 350 円だった。震災で閉館していたものが近年新築開館されたそうで源泉かけ流し、清潔で明るく肌がすべすべになるお湯だった。湯加減もよし。

山荘に帰っての夕食は川畑先輩の肴に加えて中川さん特製のカレー。カボチャ、ピーマン、赤いパプリカの素揚げが添えられた絶品。



藤沼湖温泉 やまゆり荘



中川君特製のカレー

3月10日 解散、自由行動

今朝も昨日に続いて川畑さん特製サラダの朝食をいただいた。

太陽の光と青空の朝を迎えた。福島は少し場所が変わるとまったく様子が異なる。川畑山荘は晴れていたが、さて。

山荘前で記念写真を撮って解散。井上、和光組は帰路のフェリーに乗船すべく仙台港へ。川畑、酒井、中川組は「会津高原だいくらスキー場」<http://daikura.net/> に。

“午前中は川畑様から基礎スキーの講習をして頂きました。午後は川畑様と別れて中川さんと二人で全コースを滑りました (ただし最上部の非圧雪コースはクローズでリフト動かず)。

午後 1 時 45 分頃スキー場を後にして、午後 5 時 45 分頃自宅 (西東京市) に到着しました。

(酒井利直記)”

川畑大先輩には大変お世話になりました。ありがとうございました。



川畑山荘前にて(井上達男撮影)
酒井利直 中川勝八郎 和光広典 川畑實

☆<<関西組の回り道>>

第 203 回例会は川畑山荘にお世話になる都合上、関東組、関西組それぞれ参加枠が設定され、都合 7 人まで、ということだった。しかし、都合でキャンセルがあり、5 人の参加となった。関西組は和光さんと井上の 2 名で和光さんの車で回ることになった。2 月に家族スキーに出かけた折に奥様が骨折されて新潟に入院中。和光さんが見舞いで滞在中の新潟から鷲ヶ岳の HaksanView(井上山荘)に現れた時に初めてそのことを知った。事前に知らされていたら無理をさせることはなかったのだが。結果としてずっと彼に運転と例会への回り道案内をしてもらった。申し訳ない思いと感謝の気持ち一杯だ。和光さんありがとう、そして奥様の一日も早い回復をお祈りします。

さて、福島は遠い。そこで和光さんが計画してくれた旅は次の通りだった。

3 月 6 日、HaksanView 出発、非圧雪主義のシャルマン火打スキー場にてパウダーを楽しむ。

この日は気温が高くゆるんだ湿雪でコース外は滑降できず。

宿泊は料理が評判の上越秘湯ませぐち柵口温泉。

(なぜマセグチと呼ぶのか宿の人に尋ねたら、「昔、馬を囲う柵がありそれをマセと読んだところからきている」との説明だった。)

3 月 7 日、午前中もう一度シャルマン火打でスキー。

夜半からの新雪が 30cm 積もってスキー場は全面パウダーとなった。

午後スキー場を出発し新潟から阿賀野川沿い磐越自動車道経由で会津東山温泉グランドホテル宿泊。

ここでも評判のバイキング夕食を楽しむ。・

3月8日、例会に合流

3月10日、 例会後に太平洋フェリー「いしかわ」で仙台から名古屋に帰る。

波は静かでのんびりした航海だった。食事はここでもバイキングだった。という豪華なラウンドツアーであった。

和光さんは HaksanView で休憩の後に奥様入院先、新潟の病院へ出立した。



CharMant 火打で滑る和光広



湿雪にロッカースキーの井上

以上 井上達男 記